

2008年9月5日
野村不動産株式会社

報道関係者各位

野村不動産「日本橋室町野村ビル」の建設に着手 オフィステナントとして新生銀行本店が内定

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区 取締役社長:鈴木弘久)は、かねてより都市再生特別地区制度を活用し、日本橋室町東地区にて「日本橋室町野村ビル」開発を推進しておりますが、このたび新築工事に着手しましたのでお知らせ致します。なお、本ビルのオフィスフロアには新生銀行本店の入居が内定致しました。

【日本橋室町エリア ~ 伝統と品格の街 ~】

本物件の位置する日本橋室町は、江戸期以来「日本橋」を象徴として、日本の経済・文化の中心として発展してきた地区です。しかし現在では建築物の老朽化や他の地区の台頭により、金融機関や製薬会社等の流出や昼間人口減少に伴う地域活力の低下が顕在化してきました。そこで「東京の中心」に相応しい街への再生に向けて、既存の歴史ある街並みと調和を図りながら、個性的で魅力ある街としての再編が求められてきました。

【都市再生特別地区 ~ 日本橋に誕生する新しい「まち」~】

平成19年8月、本物件の存する街区は、周辺の4つの街区と合わせ、都市再生特別地区日本橋室町東地区として都市計画決定されました(区域面積:約18,000㎡)。本開発計画では「賑わいの拠点」「通りの景観形成」「公共空間の整備」「環境への配慮」を開発コンセプトとし、中央通り東側において5つの街区を一体に整備するものです。中央通りを軸とし、日本橋三越本店、日本橋三井タワーと呼応した、当地区ならではの歴史的表情線を統一した景観を形成することで、日本橋室町エリアは業務・商業が適切に調和した魅力ある複合機能の一大集積エリアへと変貌します。

【本物件の特徴 ~ 日本橋に生まれる上質な時間 ~】

オフィスゾーンを中心とした商業ゾーン、サービスゾーンで構成される複合ビル

品格ある街「日本橋」に相応しい空間。それは上質な時間が流れ、本質を見極めるものが手にできる贅沢な空間です。ビル内はオフィスゾーン、商業ゾーン、サービスゾーンの3つに分かれ複合的に機能。エグゼクティブ達がステータスを感じ、誇りを持てる空間を提供していきます。なお、かねてより新本社の移転先を検討していた新生銀行より、日本の経済・金融の中心地「日本橋」の将来性や当ビルの開発コンセプトに高いご評価をいただき、今般オフィスフロアの全てとサービスフロアの一部を新本社としてご利用いただくことに内定致しました。

伝統と革新性を併せ持つ商業ゾーン

古きを重んじながら新しきを追求する、そうした日本橋の「志」に相応しい、本物を見極めることができる大人を意識した商業ゾーンが誕生します。

地下1階~4階には、こだわりの品質を大切にしたりテイルショップゾーンやゆったりとした心地よさや落ち着きを提供するダイニングゾーンを展開していきます。

多目的なカンファレンスフロア

5・6階には最新設備を備えたカンファレンスフロアを設置。ケータリングシステムも充実させ会議やセミナーだけでなく、パーティー等の利用も可能です。

地下鉄・駐車場からのダイレクトアプローチ

地下1階では、3層吹抜け空間となる地下広場を設置し、東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅と直結します。国土交通省が進める中央通り地下歩行空間整備(第3期)への積極的な協力を行い、地下歩道を介して日本橋三越本店、日本橋三井タワー(マンダリンオリエンタルホテル東京)へも接続しています。

また、地下2階にはオフィスゾーン、商業ゾーンの各フロアへ直接移動できる車寄せを設置しました。

オフィフロア

ビルの上層階 10 階から 21 階に位置するオフィフロアは、ワンフロア約 1,277.1 m²(約 386.3 坪)、総貸室面積は約 14,858.5 m²(約 4,494.6 坪)で、最先端設備を備え、快適なビジネス環境をサポートします。

緑の共用スペース

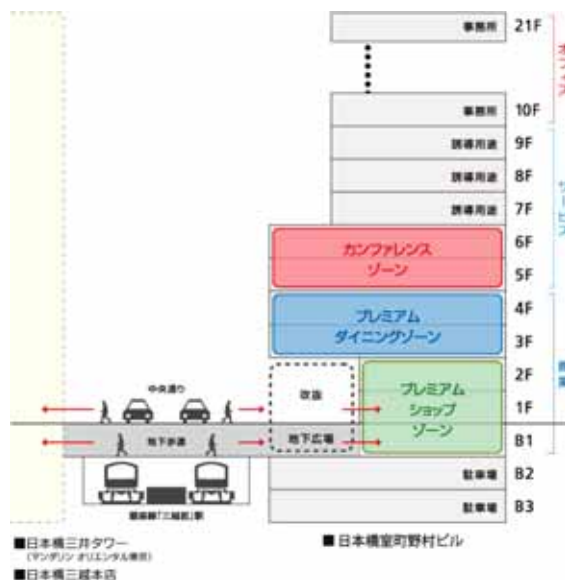
敷地内には約 629 m²(屋上緑化を含む)の緑地スペースを設置。オフィスワーカーのみならず地域に憩いと潤いを提供します。

植栽には、ビルのシンボルツリーとして九州から樹齢約 100 年のくすのきを植樹します。

本ビルは当社が基幹ビルとして保有、マネジメントを行う方針であり、今後も野村不動産及び野村不動産グループでは全国の主要都市において積極的にオフィスビル開発を行い、優良なオフィス空間を提供してまいります。

以上

ゾーニングイメージ



周辺地図



【物件概要】

所在地	東京都中央区日本橋室町2丁目4番7他(地番)
交通	東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 徒歩1分
敷地面積	(実測)2744.31 m ² (830.16 坪)
延床面積	46,397.28 m ² (14,035.18 坪)
構造・規模	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下5階・地上21階・塔屋2階
駐車台数	154台
竣工予定	2010年9月予定
設計・監理	野村不動産株式会社一級建築士事務所・株式会社日建設計
施工	大林組・野村建設工業共同建設企業体

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産株式会社 広報部(片山・石川・鶴木)

TEL 03 - 3348 - 7805・FAX 03 - 3343 - 0445

完成予想外観パース



商業フロアイメージ



地下広場完成予想図

